

平成29年度 公益財団法人ソフトピアジャパン事業計画

《基本的方針》

日本経済の景況は、緩やかな回復基調を続けており、企業収益が高水準で推移し、業況も幾分改善するなかで、設備投資は緩やかな増加基調にある。また、金融環境はきわめて緩和した状態にあり、予想物価上昇率は弱含みの局面が続いていることから、経済の先行きは緩やかな拡大に転じるとみられる。

国は『日本再興戦略 2016』—第4次産業革命に向けて—の中で、企業の内部留保を設備・イノベーション・人材といった未来への投資に積極果敢に振り向けることが不可欠であるとし、①新たな「有望成長市場」の戦略的創出、②人口減少に伴う供給制約や人手不足を克服する「生産性革命」、③新たな産業構造を支える「人材強化」、の三つの課題に向けて、更なる改革に取り組むとした。

県では、地域が活力を維持しながら誰もが安全・安心に暮らすことができる未来の実現に向けて「人づくり」「魅力づくり」「安全・安心づくり」を柱とし、モノづくりへのIoT導入など、中小企業に対して支援に取り組むこととしている。

当財団は、Connect Next(情報と人、人と人をつなげ新たなビジネスチャンスが生まれるよう「次」に挑戦。)をスローガンとして、県内産業の情報化、情報産業の育成、既存産業の高度化を推進し、特に、地域の魅力を引き出すITサービスの利活用や、ものづくり産業の構造変化に対応するIoTの活用などに期待が寄せられていることから、平成29年3月改定予定の「岐阜県成長・雇用戦略」に沿って、県内の製造業等のIT導入支援や県内中小事業者の越境EC市場への参入支援等により、持続可能な地域産業の形成を推進する。

《事業概要》

1 中小企業の情報化・競争力向上を支援する産業高度化事業

- ① 中小企業に対する経営セミナー、アドバイザー派遣等を通じた情報化支援
- ② ソフトピアジャパンエリア企業への総合的支援
- ③ 製造業等の中小企業、小規模事業者に対する指導員派遣等の情報化支援

2 新たなサービス・新商品の創造を支援する事業

- ① 産学官連携による新サービス・新商品につなげるための共同開発を支援
- ② 県内企業が新サービス・新商品の創出を図るために必要な情報の提供や支援
- ③ 技術交流等のコミュニティを中心とした活動による企業間連携の促進

3 産業人材を育成・供給する人材育成事業

- ① 中小企業・団体等のITをビジネスに活用できる人材の育成
- ② 情報産業等の技術者・開発者を対象とした人材の育成
- ③ 企業内リーダーや次世代を担う中高生を対象とした人材の育成

《事業内容》

【公益目的事業会計】

1 中小企業の情報化・競争力を支援する産業高度化事業

(1) 中小企業情報化支援事業

(予算額： 6, 642千円)

県内中小企業の IT 活用による経営革新を促進し企業競争力向上を図るため、企業等から相談を受け付け、IT 経営の導入による販路拡大・効率化等の助言・支援を行う訪問指導等を実施する。また、さらなるインバウンド需要の高まりに対応するため、昨年度に引き続き観光業や地場産業への支援を強化する。

ア IT 経営セミナー

商工会議所・商工会や中小企業による組合等と連携し、経営への効果的な IT の活用策等をテーマにセミナーを開催する。

イ IT 経営相談対応

県内中小企業から経営課題に係る相談を受け、IT 活用による課題解決を支援する。課題解決に当たっては、適宜専門的能力を有する IT 経営アドバイザーを派遣し、幅広い分野に及ぶ IT 経営相談に対する確かな支援を行う。

ウ 地域支援機関との連携強化

地域支援機関の職員を対象とした勉強会・セミナーを実施するほか、訪問指導への同行等を通じ、連携を強化することで、地域企業にとってより身近に IT サービスの相談ができる人材を育成する。

(2) ぎふネットショップ・IT ビジネス総合支援センター運営事業

(予算額： 20, 200千円)

県内事業者のネットビジネスへの新規参入による販路拡大や、既存店舗のスキルアップと事業者相互の情報交流等を支援する「ぎふネットショップ・IT ビジネス総合支援センター」を設置・運営し、新規出店支援や既存店舗の競争力強化、売上拡大を支援する。

ア ネットショップ相談サポート

ネットショップの新規出店や既存店の売上拡大に関する情報を提供するとともに、個別の相談に対応する。高度な相談については、専門の指導員を活用する。

イ ネットショップ関連セミナー・研修

新規出店や既存店の売上拡大に関するセミナー、商品写真の撮影・加工、デザイン等ネットショップの質を向上させるための研修等を実施する。

ウ アジア等海外向け販路開拓支援

海外向けネットショップの新規出店、SNS 活用、SEO (検索エンジン最適化) 対策等に関するセミナーを実施するとともに、出店や運営に関する個別相談に対応する。

エ 支援エリア拡充のための飛騨ブランチ設置事業 (新規)

支援エリアを拡充するために、「飛騨地区 (高山市)」に拠点を設置し運営する。

オ 「ぎふネットショップマスターズ倶楽部」運営支援

全体例会や支部活動、研修を通じ、事業者間の情報交流を進め、県内ネットショップ事業者全体のレベルアップを図る。

(3) ソフトピアジャパン企業支援事業

(予算額： 5, 040千円)

ソフトピアジャパンエリアの立地・入居企業を総合的に支援することにより、企業の競争力強化や企業間の連携を促進し、情報産業の振興を図るとともに、立地・入居予定企業にインセンティブを提供し、ソフトピアジャパンを情報関連企業の集積拠点とする。

ア 経営支援

入居ベンチャー企業が必要とする事業計画立案、マーケティング、資金調達、人材確保等について、中小企業診断士、税理士、弁理士、弁護士等の専門家による無料コンサルティングを実施するほか、共通の問題点等について勉強会を通じて解決することにより、ベンチャー企業の経営基盤強化を支援する。

また、卒業予定の学生や、出産・育児を終えた女性の再就職希望者等に立地企業等の合同会社説明会を行い、人材確保を支援する。

イ 販路開拓支援

大規模展示会に共同展示ブースを設置し、販路拡大並びにビジネスマッチングを支援するほか、専門性の高い国内の企業展示会等に出展する立地・入居企業に、補助金を交付することにより販路の開拓を支援する。また、関連機関と連携してプレゼンテーションの機会を提供し、マッチング支援を行う。

ウ 情報提供・交流支援

立地・入居企業や連携企業等が構成する各種団体等が行う情報交流・技術交流活動等に参加するとともに活動を支援するほか、企業活動に有益な情報を収集・提供することにより、立地・入居企業の活動を支援する。

(4) スマートものづくり推進事業

〔補正新規〕(予算額：24,800千円)

＜経済産業省補助事業：「スマートものづくり応援隊事業」＞

県内の中・小規模のものづくり産業の人材不足が深刻化する中、IT を活用した業務の効率化（ロボットや IoT、人工知能等）によりさらなる生産性の向上、新規事業の推進に取り組むため、国の「スマートものづくり応援隊事業」を活用し、製造現場の経験が豊富な人材や、IoT やロボットの知見を有する人材等が指導者としてのスキルを身に着ける指導者育成と、育成した指導者の現場派遣による、製造業等の県内中小企業や小規模事業者の情報化推進を支援する。

ア 指導者育成（スクール）事業

製造現場の経験が豊富で、IoT やロボットの知見を有し、生産性向上に資する指導が可能な指導者を育成するための研修を実施する。また、実機を使用した研修を行うため IoT 等の導入や新規事業開拓を促進する拠点（ショーケース）等を整備する。

イ 現場派遣事業

指導者育成事業で育成した指導者等を、現場の改善を希望する製造業等の県内中小企業や小規模事業者に派遣して、情報化推進による現場改善、生産性向上、新規事業開拓の促進等の支援を行う。

2 新たなサービス・新商品の創造を支援する事業

(1) 産学官連携による共同開発支援事業

(予算額： 15,025千円)

県内企業による IT を活用した新しい取り組みを推進し、イノベーション創出により企業競争力の向上を図ることを目的として、学(IAMAS や県内外の大学等)が持つ「シーズ」と県内企業の持つ「ニーズ」を異業種・異分野交流等を通じマッチングし、新サービス・新商品等の共同開発事業を支援する。

また、イノベーションの創出のために必要な情報の提供や本事業の成果等を県内企業へ広く普及させるとともに、デジタルファブ리케이션（レーザーカッターや 3D プリンタ等、コンピュータと接続された工作機械を用いて、デジタルデータを基に色々な素材を加工し、成型する技術や行為。）の支援や IoT 等新分野に関する情報提供・相談等を通じて、県内企業の競争力強化を図る。

ア 産学官連携イノベーション創出支援

県内大学等の専門的知見や研究成果等を活用し、県内企業の新サービス・新商品の開発を支援する。

イ ものづくり空間“Fab-core”の運営

新しいものづくり手法の普及と実践のため、ものづくり空間“Fab-core”を運営し、新商品開発プロジェクトのためのワークショップ等を実施する。

(2) ITものづくり等推進支援事業

(予算額： 6,000千円)

「ぎふ IT・ものづくり協議会」の活動から生まれた新たな技術開発シーズを具現化するため、IT 産業、ものづくり産業、サービス産業等の会員企業を含む複数企業で構成されるワーキンググループによる技術研究開発を支援し、IT とものづくり等が融合した付加価値の高い新商品・新サービスを創出する事業に対して助成する。

(3) 新サービス創出拠点事業

(予算額： 1,500千円)

新サービス・新商品の創出を図るため、技術者等の交流を促進し、企業間の連携を形成するとともに、企業が必要とする情報提供や支援を実施し、ソフトピアジャパンエリアを新サービス創出の拠点とすることを旨とする。

ア コミュニティの形成・活性化

IoT、人工知能、スマートフォン、オープンデータ等の勉強会を実施する他、IT と他分野の連携やロボット、ウェアラブル機器、拡張現実 (AR) などの新技術に関する勉強会等を開催し、技術者等の交流を促進し、企業間の連携を形成・活性化させる。

イ 最新動向等の情報提供や支援

IoE（Internet of Everything）、ブロックチェーン、クラウドサービス活用等 IT に関する最新動向や日々発表される IT に関する新技術や企業の要望の強いテーマのセミナー等を開催し、新サービス・新商品の開発に必要な情報を提供する。

3 産業人材を育成・供給する人材育成事業

(1) IT人材育成事業

(予算額： 7,641千円)

IT 企業をはじめ、県内の企業・団体等を対象に、IT ビジネス活用、IT 技術、マネジメント等 IT 技術の習得レベルに応じた研修を実施する。

ア IT 技術者育成研修

IT 技術者・開発者等を対象に、新分野、新技術、デザイン等の専門的な IT 技術やビジネススキル習得研修を実施する。

イ 次世代人材育成研修

次世代の IT 業界を担う高校生等を対象に、アプリ開発や IT 関連サービスの創出が行える人材育成研修を実施する。また、中学生を対象とした岐阜サマーサイエンススクール等の支援を実施する。

【収益事業会計】

4 収益事業会計

(1) WEB広告・特許権等活用事業

(予算額： 151千円)

ア 財団ホームページに企業等のバナー広告を掲載し、掲載料を収入する。

イ 財団が保有する特許等の使用に伴う使用料を収入する。

(2) ぎふIT・ものづくり協議会事務処理受託事業

(予算額： 624千円)

ぎふ IT・ものづくり協議会の会員の入退会管理や、総会/理事会/講演会の開催に関する事務等、協議会運営にかかわる事務作業を受託して実施する。